

群馬県を代表する洋画家、湯浅一郎の幻の作品
みづかがみ
《水鏡》を発見、当館初公開

湯浅一郎（1868-1931）は、安中の醤油味噌醸造販売を営む有田屋に生まれ、まだ西洋画が珍しい時代に山本芳翠や黒田清輝に学んだ本県を代表する洋画家です。

湯浅の《水鏡》は、師である山本芳翠の影響が強く表れた初期の代表作で、明治時代の日本洋画の作例として美術史的にも大変貴重な作品です。昭和2年以降所在が分からなくなり、長い間、戦火で焼失したと考えられてきましたが、このたび思いがけず、個人のコレクションから95年ぶりに発見されました。所蔵者の厚意により《水鏡》が群馬県立近代美術館に寄託されたことから、現在のコレクション展示で初公開しています。

あわせて《水鏡》と一緒に発見された《大原女》と、令和3年度に寄贈された《早春の風景》も初公開しています。

展示期間 令和4年11月13日(日)まで

会場 群馬県立近代美術館 展示室2

開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

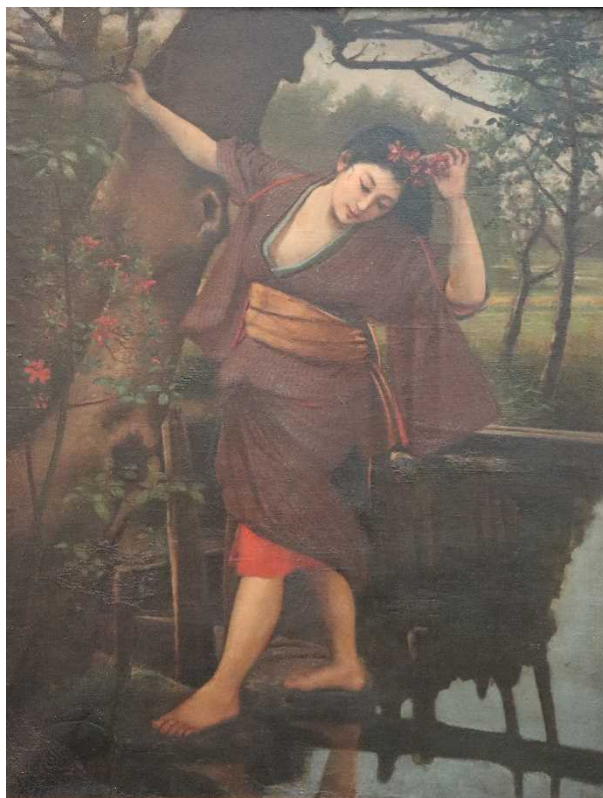
コレクション展示観覧料

一般 300(240)円

大高生 150(120)円

※()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、群馬県民の日(10月28日)に観覧される方は無料



湯浅一郎 《水鏡》
1894年頃 油彩・カンヴァス
90.5×69.7 cm 寄託作品

今回のトピックス

1. 失われたと思われていた湯浅一郎の初期の代表作《水鏡》を発見、当館初公開中。
2. あわせて、同時に発見された《大原女》と、昨年度寄贈された《早春の風景》も初公開。

問い合わせ先 群馬県立近代美術館
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1
TEL.027-346-5560
FAX.027-346-4064



県立近代美術館 HP
(<https://mmag.pref.gunma.jp/>)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

